

第2回 2025年世界陸上競技選手権大会開催に係る大会運営組織の設立準備会
(議事概要)

1 開催日時

令和4年11月24日(木) 15時30分から16時30分まで

2 開催場所

公益財団法人 日本陸上競技連盟事務局

3 出席者氏名

○委員

公益財団法人日本陸上競技連盟	風間 明 専務理事
東京都	横山 英樹 生活文化スポーツ局長
外部有識者	三好 豊 弁護士(オンライン出席)
	中村 友理香 公認会計士(オンライン出席)

○オブザーバー

スポーツ庁	八木 和広 参事官(国際担当)
	角藤 大樹 政策課専門官

○事務局

公益財団法人日本陸上競技連盟	鈴木 英穂 事務局長
	石井 朗生 事務局次長
東京都	渡邊 知秀 生活文化スポーツ局長次長
	三浦 大助 生活文化スポーツ局事業推進担当部長

4 要旨

【日本陸連 風間専務理事 挨拶】

お忙しい中、ご参集いただきありがとうございます。

第1回設立準備会においては、国際スポーツ大会が次代の子供たちに感動や勇気を与えること、都市のプレゼンスの向上に寄与することなど、東京で開催する多くの意義が確認できました。

その上で、大会の成功には公正な大会運営組織が必要であり、設立に向けては、令和元年にスポーツ庁が定めた「スポーツ団体ガバナンスコード」を踏まえて議論・検討を進めることとしました。

第1回の設立準備会から本日までの間、作業部会などにおいて、委員の皆様方から様々なご意見をいただきました。

本日は、これまでの議論・検討を踏まえ、現段階における取組の方向性、そして今後の更なる検討事項も含め、中間の整理を行いたいと思います。

委員の皆様の立場からの公正な大会、組織とはどのようなものか、我々日本陸連は陸上の競技団体としてどのようなものを求めていくか。理想的な、そして具体的なものを皆様と協議して参りますので、委員の皆様には忌憚のないご意見をいただければと思っております。

ます。

引き続き 2025 年の世界陸上の成功に向け、ご協力をお願いしたいと思っております。

【資料説明（事務局）】

○「2025 年世界陸上競技選手権大会開催に係る大会運営組織の設立準備会 中間の整理」

【意見交換】

○風間委員

- ・日本陸連として、陸上競技に特化した目線が必要。出場する選手目線で、今までの大会の経験、今の選手の気持ちや、未来を担う子供たちが魅力的であると思ってくれる大会にしたい。そのためのステージをつくるのが我々の仕事だと思うので、常にそのことを念頭にどうやったら興味を持ってもらえるか、親しんでもらえるのか、という視点を外さないようにしていきたい
- ・コンプライアンスやガバナンスなど当然遵守しつつ、スポーツの価値、魅力ある将来的な国際スポーツ大会の在り方を常に忘れてはならない軸としたい。昨夜のサッカーワールドカップでのドイツ戦でも、過去の悔しい思い、それを 4 年半かけて実現できたという選手たちの言葉は勝敗よりも重いと感じている。選手はオレゴンやその前の世界陸上での思いを 2025 年の東京の時にどのように考えていくのか、よく踏まえていきたい
- ・それと同時に、子どもたちがそれを聞いてどういう将来像を描くのか、ということがすごく大事であるため、そこに視点をあてたヒアリングや考え方は皆様とシェアしながらやっていきたい

○三好委員

- ・中間の整理はこれまでの議論を的確にまとめていただいている
- ・今後の課題でも触れられているが、契約・調達委員会が審査の対象とするものとして、収入まで対象とするのかという点について、具体的にはスポンサーシップ契約を契約・調達委員会の審査の対象とすることが運用上実際可能なかどうか、スポーツビジネスの契約に精通している有識者の意見を聞くのも今後の進め方としてある有益である

○中村委員

- ・ 3 点申し上げる

・ 1 点目：

早急に役員等を選任し、次のステップに進む必要がある。

平成 20 年の公益法人の制度改革にあたっては、財団法人の最初の評議員の選任については、主務官庁の認可を受けた方法で行った。多くは、評議員選任委員会を設置して行ったという経緯がある。世界陸上の大会運営組織では評議員に関しても役員等選考委員会を通じて選任を行った方がよいのではないかと

・ 2 点目：

通報制度について、スポーツ団体ガバナンスコードにおける通報制度は、内部通報制度

について主に規定されている。契約・調達の管理を重視する観点からは、外部通報窓口を設ける必要性や外部通報窓口をどういったものにするか、という観点からの検討が必要ではないか

・ 3 点目 :

一般法人法は会社法がベースになっているので、商取引という観点から利益相反の内容が主に規定されている。しかし、スポーツの場合だと、関連団体から推薦を受けて役員となるような場合もあると思われることから、推薦を受けた母体団体に所属する選手等の選考というものも利益相反に入る、という考え方もできるのではないかと。そのため、ビジネスとしての商取引とはまた違った観点から、何を利益相反の取引の対象とするかという定義検討が、規程の内容を考える上で必要になると思われる。また、利益相反については、役員が取引を行う場合にどこの部署を申告先とするのかということや当該取引が利益相反に該当するか否かのチェックをどこで行うのか、等を明確にした形で規程を整備していくと良いと考える

○事務局

スポーツ庁でも東京都でも、世界陸上に限らず、様々な国際スポーツ大会におけるガバナンス検討のために新しい会議体を作られているが、このあたりについても紹介いただきながら、ご意見をいただきたい

○スポーツ庁 八木参事官

- ・スポーツ庁としての動きを説明する。東京 2020 組織委員会元理事の逮捕・起訴事案を踏まえて、11 月 18 日に今後の国際大会、国内大会の大会運営組織のガバナンス体制、情報公開の在り方を検討するための会議を立ち上げた。弁護士 3 人、会計士 2 人の計 5 人の中立的な立場の方々に、東京 2020 組織委員会の元職員からのヒアリングや資料等を調査・分析していただき、それを基に今後の大会に向けての指針案を作成いただくということにしている
- ・スケジュール感として、2 月までには指針案を示していくことを考えている。札幌市、東京都、愛知名古屋アジア・アジアパラ組織委員会にオブザーバーに入ってもらっている。今回並行して本設立準備会でこのようにまとめていただいているので、我々としてもぜひ活用させていただきながら、しっかりと連携をとって、齟齬のない形で指針づくりを進めていきたい。また、指針がまとまった際には、設立準備会でも取り入れられる部分は取り入れていただいでいくのがよろしい

○事務局(東京都)

- ・2025 年は世界陸上とともにデフリンピックという非常に大きな大会の準備が始まっており、世界陸上については本設立準備会で先行して議論を行っていただいている
- ・都として、国際スポーツ大会のガバナンスや情報公開、都の関与の在り方ということについて、東京 2020 大会の経験を踏まえて議論をするために改めて外部の有識者の方々に構成される検討会を設置し、世界陸上・デフリンピックを含めて国際大会に向けた改善

を議論した上でガイドラインの作成を考えている

- ・会議の体制としては、現在調整中だが、外部有識者として弁護士、公認会計士、スポーツ関係の有識者を想定し、5～6名程度で機動的な検討ができる体制を考えている
- ・事務局としては生活文化スポーツ局に加えて、東京2020大会関係事務を所管している政策企画局、庁内でコンプライアンスを所管している総務局が共同で務める
- ・東京2020大会との関係で清算法人にも協力を求める予定
- ・スケジュールについては12月のなるべく早い段階で会議を立ち上げ、年内に中間のまとめを行い、その結果を世界陸上やデフリンピックの準備に反映していくことを考えている
- ・さらなる今後の国際スポーツ大会が具体化した際には、それに合わせて適宜改正
- ・世界陸上もすでに開催まで3年を切っており、スピーディな対応が求められていることから、このようなスケジュールを組ませていただいた

○横山委員

- ・短期間で中間の整理まで到達していただき、作業部会の皆様ありがとうございます。基本的にはこの方針で最終のまとめ・実施に向けて進んでいくことについて異論はなく、この線でさらに検討を深めていきたい
- ・スポーツ庁で検討PTを立ち上げて、検討・議論していることについて、大会運営組織の設立に向けて、しっかり反映させていく必要がある。併せて事務局からも説明があったとおり、都としても国際スポーツ大会のガバナンス・情報公開、そして都の関与の在り方等についての議論、ということで新たな有識者会議を立ち上げることとしている
- ・こうした検討の歩調を合わせながら、世界陸上の大会運営組織の設立に向けて、活用されていくことが必要なので、調整を図りながら進めていきたい
- ・東京都としては、有識者会議を立ち上げるひとつの狙いとして、世界陸上はもちろん、様々な国際大会の誘致をこれからも進めていくということもあるので、今後も活用できるガイドラインを念頭に置きながら、進めていくという部分もある。一番大きな象徴としての大会が世界陸上ということになりますので、ぜひ早急に有識者会議を立ち上げて、本設立準備会にも反映していただけるような内容を目指したい

○事務局

ありがとうございました。スポーツ庁と東京都からのご報告を踏まえて三好先生、中村先生、さらにご助言をいただけるような点がございますか

○三好委員、中村委員

特にございません

○事務局

- ・あまり時間がない中だが、きちんと丁寧に議論しながら、早期に進めていきたい
- ・本日の資料は、このあと日本陸連および東京都のHPにおいて公開する。議事要旨につ

いては、内容を皆様にご確認いただいた後で、同様にHPを通じて公開

- ・次回の設立準備会の時期は未定だが、スポーツ庁や東京都の動きとも関連し、幅広い知見を有する識者へのヒアリングや委員の意見も伺い、日程を決めていく